

6月29日は「ひろしま防災の日」

# 防災 減災 備えんさい!

ひろしま 県民  
だより



第315号  
平成23年(2011年)

広島県

## いざ!というときに落ち着いて行動できるように。 自助、共助、公助で万全の備えを!

広島県は広島県防災対策基本条例で、6月を「ひろしま防災月間」と定めています。また、豪雨災害により県内において多数の死者・行方不明者を出した6月29日を「ひろしま防災の日」と定め、防災意識の高揚を図っています。

梅雨の季節だからこそ、特に今月は防災への意識を高めることが大切です。

災害による被害を軽減するためには、自らの身は自ら守る「自助」、地域の住民がたがいに助け合う「共助」、県や市町等が県民の生命や財産を守るために行う「公助」の取り組みが不可欠です。これらの「自助」「共助」「公助」の役割分担と連携により、社会全体で減災に取り組む「防災協働社会」を築きましょう。



暮らしの安心・安全を守る「タスケ三兄弟」

自助  
(個人)



「ジスケ」

自らの身は  
自ら守る

共助  
(地域)



「キョウスケ」

地域の  
みんなで  
助け合う

公助  
(県・市町)



「コウスケ」

県民の命と  
財産を守る